

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第 1 回高松市総合計画審議会
日 時	平成 2 7 年 9 月 7 日 ( 月 ) 1 9 時 4 5 分 ~ 2 0 時 4 0 分
開催場所	高松市役所 1 3 階 大会議室
議 題	( 1 ) 第 6 次高松市総合計画(仮称)基本構想(案)について ( 2 ) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員 ( 2 2 名 )	佃会長、野田副会長、上田委員、上原委員、国見委員、 桑井委員、桑村委員、坂口委員、佐野委員、白薊委員、 鈴木委員、高嶋委員、竹内委員、徳倉委員、中橋委員、 西岡委員、原委員、藤本委員、古川委員、眞鍋委員、柳 委員、頼富委員
傍 聴 者	2 人            ( 定員 1 0 人 )
担当課及び連絡先	政策課    839-2135

### 会議の経過及び結果

会議の冒頭、市長の挨拶の後、市長から総合計画審議会会長へ諮問文書を渡し、議事に移った。

#### ( 1 ) 第 6 次高松市総合計画(仮称)基本構想(案)について

事務局から、総合計画基本構想の原案について説明し、委員から意見をもらう。

#### ( 委員 )

先日、素案に対しパブコメでも意見を出しているが、具体的にどのように反映されたのか見えないところがある。また、全体でパブコメに対する意見はどれくらいあったのか。パブコメに対する意見の整理の仕方を確認したい。

#### ( 事務局 )

総合計画の素案についての意見は 3 8 件頂いている。本来ならば本日までにホームページなどで対応についてお示しする予定だったが、作業が遅れている。なるべく早く公表したい。原案に対するパブリックコメントについても、本日から 1 0 月 2 日までの間で実施する。

#### ( 委員 )

非常に大きな計画なので、細部について言うときりがないと思う。まずは目標のところが一番の基本になるかと思うので、この部分について少しお話しさせていただく。

目標が出ると、往々にして文化・芸術・教育・福祉とどれもお金を使うものばかりで、それに対しての財源確保が今までの総合計画も含めて、盛り込みが薄かったのではないかと思う。人口減というのは社

## 会議の経過及び結果

会に対してもものすごく大きな影響を与えると思う。そのため、今までになかった、もう少し踏み込んだ第6次の総合計画を期待している。市長もよくクリエイティブシティと言われるが、芸術文化が産業になっていくといった、そういった踏み込んだ計画が出来上がると、これからの人口減という社会変化に対応できる、今までを超える計画になると思う。

(委員)

個別に施策を見ると、市がこれまで取り組んでいるような事業がほとんどのような気がする。来年度以降、新たな総合計画の中で、新たな内容が追加されたら良いと思う。

(委員)

総合計画の推進の中で、第5次の段階ではPDCAができているのか。項目が多いが、第5次と同じ項目のものが入っていると思われる。内容としては第5次とは違うものになっていると考えて良いのか、そのまま第5次を引き継いでいるものも多いのかお聞きしたい。

(事務局)

総合計画は本市の施策を網羅的に定めたものである。第6次の計画は、現行の第5次からの継続性を考えて作成している。そういった点で、現行の総合計画と同じ項目もある。施策ごとに記載している取組方針が、次年度からの8年間で実施していくことであり、現行の項目もあるし、新たな取組の記載もある。成果指標はそれに合わせて見直し、同じ指標を用いているところもあるし、新たな指標を設定しているものもある。

(オブザーバー)

県も総合計画(素案)を示しているが、従来の縦割りの施策展開ではなく、多分野連携型の施策展開、或いは市長さんがおっしゃるような公的なサービスを産業化していく、というような政策ロジックの転換も考えながら、計画立案の段階からイメージをして作ってきたつもりなので、今後の策定の過程においても、県の計画を踏まえていただけたらと思っている。

(委員)

総合計画を確認したところ、網羅的な内容になっていると思う。この中で、様々な課題を踏まえた上で、この8年間はここを重点的に力を入れていきたい、というところをある程度、明確にさせていただけると考えやすいし、市民にもアピールするものとなる。

例えば女性活躍推進など、部分的にしか触れられていないが、全部の分野にわたる大きなテーマになってくる。男性と女性の文化の成熟を全ての分野においてしなければ、少子高齢化も解決していかないとと思う。

(委員)

二重行政や無駄にならないように、県や周辺市町との折り合いや横ぐしを入れるなど、連携を図って欲しい。

また、施策の実施には、財源が必要である。今回は8年の計画だが5年後、10年後の人口推移や財政の推移も入れて、実施すべき施策を絞り込む必要があると思う。

(委員)

今年は1,800万人くらいまでインバウンドが増えると思われるが、香川では、その1%にも満たない。香川で若干伸びるだけでもホテルは黒字になり、影響は大きい。観光は、宿にしても、食事にして

## 会議の経過及び結果

も、おもてなしにしても、公共交通機関にしても、総合的なところが良くなることで、お客様にもう一度香川に来てもらえる。そのような地に着いた話、高松市だけでない広域的な提言をしていければと思う。

J R の立場で、四国に新幹線を早期に入れたいと一生懸命やっている。一番のお膝元の高松市でも、それに対してどう考えるかという観点の表現が欲しいと思っている。

3 点目が、エネルギーの問題が若干書いてあるが、太陽光の再生エネルギーをもっと充実すべきである。今後、蓄電池の技術が上がってくるので、香川県で太陽光で蓄電したエネルギーを地産池消も含め、どうあるべきか、といったところを踏み込んで書いていただくと良いと思う。

(委員)

自転車のレンタサイクル一つとっても、交通設備、放置自転車対策、レンタサイクルの設備充実などが書いてある。ヨーロッパや、日本だと富山や仙台ではスタンドタイプで、地上で簡単に借りられるタイプのレンタサイクルシステムが導入されている。

観光客からすると、現行の地下に入って手続きをしてレンタサイクルを借りるのでは、どうしてもハードルが高いので、まず予算が限られている中で見直すとしたら、港、商店街、市街地中心街といった、レンタサイクルで気軽に行けるような、バリアがないような形のレンタサイクルシステムが導入されると観光客も使いやすいと感じる。

(委員)

成果指標について、どれが新規、或いは継続か、次回までに明確にして欲しい。第5次での目標がどうで結果的にどうだったか、目標を超えたのか、それはどういう理由で超えたのか、超えなかったのはどういう理由なのかというのを具体的に我々も知った上で、第6次はどういう指標を設定していくのが良いのか、という話になっていくのではないか。継続する指標についても、現行計画の目標も示してもらえると、我々はもっと具体的に考えていけるのではないかと思う。

(委員)

先ほど、全部統合していけば幸せなまちになるのではないか、一つに統合することによって全てが解決するのでないか、というお話があったと思う。また、富める者も貧しき者も、文化を平等に共有するというお話があったと思う。何が幸せかについて、深い視点で見つめ、新しい価値観を見出すことが必要ではないか、今はそういう時代ではないかと思う。

(委員)

どれが新しい施策かを教えてもらいたい。私は PTA という立場で参加させてもらっている。小学校、中学校でも子育て支援や色々な問題を抱えているので、それらについて、今後、提案させていただきたいと思っている。

(会長)

総合計画は、高松市の最高位の計画であり、また8年かけて実施をしていくということで、やはり相当のブラッシュアップが必要である。高松は昔から歴史があり、温和で、皆さんの安心感が強く、釘が出ないようなことをずっとやってきたまちである。しかし、そこにすごいエネルギーを持っていると思う。

たくさんの釘を出していき、その上に高松市が乗っているという計

## 会議の経過及び結果

画にしていくと分かりやすいと思う。良いものが数多くあるが、形にならなかつたり、見える化できなくて、やっぱり釘は打たれたままという感じである。釘になれるようなものがいくつ出てきて、それで高松市が浮き上がってきて、子どもたちも住みたいと思う、そのような計画が皆さんの力でできればありがたい。その釘を一つ一つ皆さんの意見としてまとめれば、それなりに今とは違った計画になる。それが、重厚な計画になり、高松の良さを出しながら将来に結びついていくと思う。

### (2) その他

#### (事務局)

第2回目は9月25日(金)を予定している。次回は、基本構想の中で、全ての施策を6つに分類した、まちづくりの目標ごとに分かれ、御意見をいただければと思う。その際、幹事である局長も入る予定である。

お手元にお配りしている資料7の意見用紙にまず、気が付いた点を記入いただきたい。

#### (閉会)